

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : HGF alternative peptide (c-Met agonist)
商品コード : PG-001

会社名 : ペプチグロース株式会社
住所 : 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
担当部門 : 開発部
電話番号 : 070-7789-3905
メールアドレス : yosuke.ushimaru@peptigrowth.com
緊急連絡先 : 070-4503-1497

推奨用途及び使用上の制限

: 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない

	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性		
	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない
GHS ラベル要素		
絵表示又はシンボル	: なし	
注意喚起語	: なし	
危険有害性情報	: なし	
注意書き	:	
【安全対策】	<p>使用前に本 SDS の記載内容を良く読み、理解した上で取扱うこと。</p> <p>保護手袋、保護眼鏡、保護マスクなどの適切な保護具を着用すること。</p> <p>粉塵、ヒュームを吸入しないこと。</p> <p>皮膚、眼、衣類への付着を避けること。</p> <p>屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。</p> <p>作業中は飲食、喫煙をしないこと。</p> <p>取扱い後、手、顔をよく洗うこと。</p> <p>環境への放出を避けること。</p>	
【救急処置】	<p><u>吸入した場合</u>、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸が止まっているときは人工呼吸を行う。呼吸困難なときは酸素吸入を行う。</p> <p><u>皮膚に付着した場合</u>、多量の水と石鹼で洗い流すこと。</p> <p><u>眼に入った場合</u>、多量の水で数分間、注意深く眼を洗うこと。その際、上下瞼を指で開いて洗うこと。医師の診察、手当を受けること。</p> <p><u>飲み込んだ場合</u>、意識があれば水で口を洗う。医師の診察、手当を受けること。</p>	
【保管】	-20℃で保管すること。	
【廃棄】	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に危険有害性を告知の上、処理を委託する。	

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名	: ペプチド
分子量	: 4705.29
CAS 番号	: 未登録
濃度又は濃度範囲	: 98 重量%以上
官報公示整理番号	: 化審法 該当なし 安衛法 該当なし
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 呼吸が止まっているときは人工呼吸を行う。呼吸困難なときは 酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹼で洗い流すこと。
眼に入った場合	: 多量の水で数分間、注意深く眼を洗うこと。その際、上下瞼を指で開いて 洗うこと。医師の診察、手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 意識があれば水で口を洗う。医師の診察、手当を受けること。
応急措置をする者の保護	: 救助者は保護衣を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、アルコール耐性泡消火剤、炭酸ガス消火剤、粉末消火 剤
使ってはならない消火剤	: 棒状水
特有の危険有害性	: 火災時に発生する分解生成物の成分は知られていない。
特有の消火方法	: 危険でなければ容器を火災区域から移動させる。 消火に用いた汚染水は回収し、水路、下水道、排水溝に流出さ せないこと。市町村の規則に従って廃棄する。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、有毒なガスの吸入や皮膚および眼への暴露を防ぐた め、検定済の自給式呼吸器および防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 封じ込めおよび浄化作業の際は適切な保護具を着用すること。
-----------------------	--------------------------------

危険でなければ漏出を止める。

環境に対する注意事項 : 漏出物や汚染された排水が河川や下水道施設に流れ込むことを防ぐこと。環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法、機材

: 漏出物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策(局所排気、全体換気等)

: 使用前に本 SDS の記載内容を良く読み、理解した上で取り扱うこと。保護手袋、保護眼鏡、保護マスクなどの適切な保護具を着用すること。皮膚、眼、衣類への暴露および吸入を避けること。

安全取扱い注意事項 : みだりに粉塵が発生しないよう取扱うこと。

接触回避 : 高温の表面、熱、火花、裸火、湿気との接触を避ける。

衛生対策 : 作業中、飲食、喫煙をしないこと。取扱い後は手、顔をよく洗うこと。

【保管】

安全な保管条件 : 容器は遮光し、 -20°C で保管すること。

安全な容器包装材料 : 法令に規定された容器を使用すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 換気設備は特に必要としないが緊急時に備え、眼の洗浄設備および安全シャワーを作業場の近くに設置する。

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 日本産業衛生学会(2020年) 未設定

ACGIH(2020年)TLV-TWA 未設定

保護具

呼吸用保護具 : 保護マスクを着用する。

手の保護具 : 保護手袋を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣、安全靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体粉末

色 : 淡黄色またはわずかに灰色がかった白色。

臭い	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: 適用外
溶解度	: データなし
オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
密度及び／又は相対密度(水=1)	: データなし
相対ガス密度	: 適用外
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 推奨した保管条件下で安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 日光への暴露。高温の表面、熱、火花、裸火との接触。湿気への暴露。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 知られていない。

11. 有害性情報

本物質は GHS 分類基準に基づく危険な化学物質ではない。

急性毒性(経口)	: データなし
急性毒性(経皮)	: データなし
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	: データなし

	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	
	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	
	: データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	
	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	
	: データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	
	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄する場合は、国、都道府県、市町村の規則に従うこと。廃棄物の処理を委託する場合は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に危険性、有害性を告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は、国、都道府県、市町村の規則に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上輸送情報	: 該当しない。

航空輸送情報	: 該当しない。
国内規制	
陸上輸送情報	: 該当しない。
海上輸送情報	: 該当しない。
航空輸送情報	: 該当しない。
特別の安全対策	: 運搬に際しては容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。食品、飲料からは離しておく。適用法令の定めるところに従うこと。

15. 適用法令

化審法 : 試薬(法第 3 条第 1 項第 3 号)

16. その他の情報

参考文献 : 社内データ
GHS 対応ガイドライン(2019 年 6 月)(社団法人 日本化学工業協会)
政府向け GHS 分類ガイダンス(令和元年度改訂版)
JIS Z 7252(2019 年)、JIS Z 7253(2019 年)

<記載内容の取扱い>

本 SDS は現時点で入手できた資料や情報データ等に基づき作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関して、いかなる保証もするものではありません。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、本製品をご使用またはお取り扱い下さるようお願いします。